

第4節 環境情報の活用

第1 環境モニタリングの充実

モニタリングの充実

発生源、環境質、府民意識及び影響モニタリングの充実

環境規制法令及び生活環境保全条例の規制基準に基づく工場の排ガスと排水、環境大気質、河川水、海水、地下水、土壌、環境騒音等の試験検査及び苦情等に関する検査分析や調査を行いました。

新たな課題に対応するモニタリングの検討

人工衛星データを用いた都市環境、自然環境の広域的把握の手法として、人工衛星ランドサット5号の熱赤外センサのデータを用いて都市の熱汚染の緩和策を検討しました。

第2 環境情報システムの整備

データベースの充実

データの一元的管理、検索・表示等の機能の強化

大気汚染シミュレーション結果等で得られるメッシュデータを各種地理情報とオーバーレイを行い、出力できるシステムや、科学技術文献情報及び化学物質情報の検索システムの運用を行いました。

解析・予測・評価システムの充実

システムの機能強化

ワークステーションによる大気汚染予測システムを用いて、将来における環境状況のシミュレーションを行いました。大阪湾水質汚濁予測システムについては、埋立地周辺の局地的な汚濁を予測できるように改良を行い、運用しました。

第3 環境情報の提供

情報提供体制の整備

環境情報コーナーの充実

(内容は、第1章第3節第2 に前掲)

環境情報提供システムの充実

環境情報提供システムで得られた結果を、インターネットシステムを利用して、画像表示等により府民にわかりやすい形で情報提供できるシステムを運用しました。

環境情報提供等の充実

(財)大阪中小企業振興センターにおいて、中小企業の環境問題や省エネルギーへの対応を支援するため、必要な情報の収集を行うとともに、各種冊子や情報誌、インターネット等により情報提供を行いました。また、収集した図書、雑誌等については、併設する産業情報図書館で閲覧しました。

コンピュータネットワークを利用した環境情報提供システムの整備

インターネット等の活用による情報の発・受信

大阪府の環境ホームページ「エコギャラリー(<http://www.epcc.pref.osaka.jp>)」のトップページを更新し、環境イベント情報や大阪の環境施策等について情報発信を行うとともに、「大阪府環境技術情報」をAPEC域内の環境保全技術情報の交流を促進するホームページ(APEC環境技術交流バーチャルセンター(<http://www.epcc.pref.osaka.jp/apec>))を通じて提供を行うほか、府民参加型の環境ホームページである「かんきょう交流ルーム(<http://www.epcc.pref.osaka.jp/fumin>)」の運営や、大阪府公害監視センターのホームページ(<http://www.epcc.pref.osaka.jp/center>)では環境学習プログラム「かんきょうワンダーランド」のコーナーを設けて簡単な操作で環境学習ができる機会の提供を行うなど、環境情報の交流を促進しました。

環境報告書の作成

環境白書等の作成

環境の状況並びに豊かな環境の保全及び創造に関して講じた施策を中心に、環境に関する資料を併せて取りまとめた「大阪府環境白書」や、広く府民に環境問題に関する理解を深めてもらうための小冊子「おおさかの環境」等を作成し、情報の提供を行いました。

府営水道環境報告書の作成

府営水道の環境保全に向けた取り組みについて、その費用と効果を明らかにすることができる環境会計を取り入れ、整理した「府営水道環境報告書」を作成し、インターネットも活用して広く府民に情報提供を行いました。